

令和6年度宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」

第1回プログラム実施レポート

1. 実施日：2024年6月22日(土) 14:00~16:00

2. ソーシャル・スキルズ・トレーニング(SST)

刑務所、少年院出所者座談会「仕事や生活の中で困る場面はありますか？」

3. 参加者；受講者：6名、講師：2名、スタッフ：3名

4. プログラムの内容とその様子

第1回は、SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)の初回であり、受講者が抱える仕事や生活での困るもしくは困った場面、リスクのある場面をペアワークで話し合い、リストアップした。話す際のルールとして、意見を否定しないことを共有しペアワークを実施。話しで挙げた場面については、各グループから発表してもらい、人前で話す機会も作りだされている。

<事例の例> 講師より、刑務所や少年院などで、実際にSSTを行った時の例をいくつか紹介いただいた

- ① 「お金を貸してくれ」と言われた時、どう断ったらいいか。
- ② ビル清掃の仕事指示で、一気に3つの階を言われ、全部聞き取れなかった。どう聞きなおしたらいいか。
- ③ 住む場所を探すため不動産屋へ行った時、どう言ったらいいか、わからなかった。
- ④ 就職活動の面接の時、どうすればいいかわからなかった。 など

<ペアワークで挙げた事例>

- ① 仕事で上司から作業内容や出勤において、無茶な要求をされ、どう断ったらいいか、困ったことがある。
- ② 年金や税金など、役所の手続きがわからず、また誰に聞いたらいいかわからず困ったことがある。免除や控除の手続きなどは、特に。役所に行きたかったが、仕事だったため、いくことがままならなかった。
- ③ 仕事の指示がわからなかった時、どう聞いていいかわからず、聞いたら怒られたことがある。
- ④ 職場で嫌がらせをされたことがあるか、どう対処していいかわからなかった。
- ⑤ 1人暮らしをした時、近所の方とどう接したらいいかわからなかった。
- ⑥ 就職の時、犯罪歴を知られた時、色メガネで見られる場合があり、どう対処したらいいかわからない。
- ⑦ 開示すると仕事につきにくい、職種が限られてしまう、やりたいことと違うため、転職を繰り返してしまう。などが挙がり、次回以降のSSTの中で、ロールプレイなどを通して、対処方法について学んでいく。

5. 受講者の感想

- ① SSTが、今後の自分の仕事や生活に役立ちそうであると感じた。継続して学びたい。
- ② 今日の体験学習の場面は、自分には無かった。次回以降、自分の困りごと場面を学べるといいと思う。
- ③ SST研修を受けたことがある受講者からは、実際に身につけるためにはどうすればいいか、という質問があり、繰り返し練習すること、他の人の意見を取り入れることが大事であることが伝わったと思う。
- ④ 仕事の指示など、YesかNoのどちらか一方を選ぶだけが答えでないことがわかった。

6. 全体を通して

笑いもあり、穏やかな空間で、終始和やかな雰囲気でもとても良い時間を過ごせ、少しながら「希望」を感じることができた。全員に発言機会があり、発言に対する否定的な意見もなかったと言える。何を話してもいいと思う空気を感じることができた。

改善点もいくつか見つかったので、次回以降、より良い居場所となるよう、講師の方を始め、参加者からの意見を取り入れて改善していきたい。